

## 国際会議「HYDRO2016」

### (1) 開催期間

平成 28 年 10 月 10 日（月）～12 日（水）

### (2) 開催場所

2m2c Convention Centre（モントルー/スイス）

### (3) 参加者

約 1,400 名（75 カ国）

### (4) 開催概要

本会議は、欧州域内で毎年開催されている水力発電に関する国際会議であり、今回の“HYDRO2016”は 10 月 10 日（月）～12 日（水）に開催された。

開会セッションでは、スイス連邦政府（エネルギー庁）、国際大ダム会議（ICOLD）会長/スイス河川構造物研究所（EPFL）所長・世界銀行（WB）水力シニアスペシャリスト等のスピーチがあった。閉会式では、ICOLD 会長より閉会スピーチがなされた。

また下表の通り、32 のセッションで多くの発表が行われた。この中で、IEA 水力実施協定関連では、Annex-13（水力発電と魚）と Annex-15（水力発電の保守とアセットマネジメント）に関するワークショップが行われた。当該会議では、個々の発表に加えて約 250 の機関や民間会社のブースが設けられ、75 カ国から 1,400 人程が参加した。

表 7.3.1 HYDRO2016 プログラム

月日	午前	午後
10/10 (月)	開会式・基調講演 1:各国の水力開発機会 2:財政と投資 3:気候変動 4:水力機械(1)	5:スイスの水力発電技術と活動状況 6:リスクマネジメントと保険 7:洪水予防と水文学 8:水力機械(2) 9:契約問題 10:ゲートと洪水吐
10/11 (火)	11:アフリカの水力事情 12:土木:設計と施工 13:揚水発電(a) 14:社会上の問題 15:土木:材料 16:魚対策(IEA session)	17:更新に係わる意思決定(IEA session) 18:ダム安全性 19:環境問題:魚保護 20:能力向上と訓練 21:水力と自然災害 22:揚水(d)
10/12 (水)	23:O&M 24:発電所の安全性 25:小水力:R&D 26:堆砂管理 27:改修と増強 28:小水力:事例紹介	29:トンネルと地下工事 30:系統問題 31:海洋エネルギー開発 32:電気工学 総括・閉会式

・ Annex-15 (水力発電の保守とアセットマネジメント) Workshop (Session17)

本会議の Conference Sessions において下記のプログラムで Annex-15 の活動背景から内容の説明、及び更新・増強に関わる意思決定の事例紹介を実施した。

Session 17 (IEA session) プログラム

Introduction to Annex XV: Maintenance works and decision-making for hydro facilities

Y. Mizuhashi, Electric Power Development Co Ltd, Japan

Case history of decision-making for upgrading hydro plants

M. Takahashi, Japan Electric Power Information Center Inc, Japan

Risk-based decision making approaches for hydropower asset refurbishment

T. Ang, Hydro Tasmania, Australia; N. Nielsen, IEA, Australia

Risk: It's embedded in your assets

B. Neijens, Copperleaf Technologies Inc, Canada

John Hart generating station replacement project: the use of revit for BIM from design to construction

A.V. Maiorov, R.S. Greig and S. Majid, SNC Lavalin Inc, Canada